

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公表番号】特表2009-507743(P2009-507743A)

【公表日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2008-531285(P2008-531285)

【国際特許分類】

B 6 5 G 35/00 (2006.01)

H 01 L 21/677 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 35/00 Z

H 01 L 21/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月11日(2009.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

バンド間搬送装置であり、

移動元コンベヤの一部がバンド間搬送装置の第1搬送区域内を移動中に基板キャリアを第1速度で進む移動元コンベヤから取り外すように適合された第1アセンブリと、

移動先コンベヤの一部がバンド間搬送装置の第2搬送区域内を移動中に第2速度で進む移動先コンベヤ上へと基板キャリアをローディングするように適合された第2アセンブリを備えた装置。

【請求項2】

第1アセンブリ及び第2アセンブリが単一の同じアセンブリである請求項1記載の装置。

。

【請求項3】

移動元コンベヤ及び移動先コンベヤが單一で同じコンベヤの異なる部位である請求項1記載の装置。

【請求項4】

基板キャリアが小ロットサイズ用キャリアである請求項1記載の装置。

【請求項5】

移動元コンベヤからの基板キャリアが第1クレードルによって移動元コンベヤ上に支持され、

移動先コンベヤにローディングされた基板キャリアが第2クレードルによって移動先コンベヤ上に支持され、

第1クレードルがシステム制御装置内で実行するスケジューラによって第2クレードルと対となっている請求項1記載の装置。

【請求項6】

基板キャリアを輸送するためのシステムであり、

第1速度で進む第1コンベヤと、

第2速度で進む第2コンベヤと、

第1及び第2コンベヤに隣接して配置されたバンド間搬送装置を備え、

バンド間搬送装置が第1コンベヤの一部がバンド間搬送装置の第1搬送区域内を移動中に基板キャリアを第1コンベヤから取り外すように適合された第1アセンブリと、

第2コンベヤの一部がバンド搬送装置の第2搬送区域内を移動中に第2コンベヤ上へと基板キャリアをローディングするように適合された第2アセンブリを含むシステム。

【請求項7】

第1アセンブリ及び第2アセンブリが單一で同じアセンブリである請求項6記載のシステム。

【請求項8】

第1コンベヤ及び第2コンベヤが單一で同じコンベヤの異なる部位である請求項6記載のシステム。

【請求項9】

基板キャリアが小ロットサイズ用キャリアである請求項6記載のシステム。

【請求項10】

バンド間搬送装置に連結されたシステム制御装置を更に備え、

第1コンベヤからの基板キャリアが第1クレードルによって第1コンベヤ上に支持され、

第2コンベヤにローディングされた基板キャリアが第2クレードルによって第2コンベヤ上に支持され、

第1クレードルがシステム制御装置内で実行するスケジューラによって第2クレードルと対となっている請求項6記載のシステム。

【請求項11】

基板キャリアをバンド間搬送装置を用いて輸送するための方法であり、

移動元コンベヤの一部がバンド間搬送装置の第1搬送区域内を移動中に基板キャリアを第1速度で進む移動元コンベヤから取り外し、

移動先コンベヤの一部がバンド間搬送装置の第2搬送区域内を移動中に第2速度で進む移動先コンベヤ上へと基板キャリアをローディングすることを含む方法。

【請求項12】

基板キャリアの取り外しと基板キャリアのローディングを單一で同じアセンブリで実行する請求項11記載の方法。

【請求項13】

移動元コンベヤと移動先コンベヤが單一で同じコンベヤの異なる部位である請求項11記載の方法。

【請求項14】

基板キャリアが小ロットサイズ用キャリアである請求項11記載の方法。

【請求項15】

移動元コンベヤからの基板キャリアが第1クレードルによって移動元コンベヤ上に支持され、

移動先コンベヤにローディングされた基板キャリアが第2クレードルによって移動先コンベヤ上に支持され、

第1クレードルがシステム制御装置内で実行するスケジューラによって第2クレードルと対となっている請求項11記載の方法。